

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

株式会社日比野設計

取組概要

取組名：地域農家と都市生活者をつなぐ、レストラン拠点型農産物流通の取組
実施地域：神奈川県海老名市
アクティビティ種別：⑫農林水産物のブランド化や付加価値向上を図る取組
取組形態：☑直接的貢献 ☑間接的貢献（☑人的 ☐金銭的 ☑物的・技術的）
取組実施日・期間：2023 年 8 月～2025 年 12 月

取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題

海老名市では、小規模・多品目農家が多く、生産量や品目が分散しているため、一定量・規格・頻度を前提とする通常の流通構造には適合しにくい状況にある。その結果、価格や規格を優先した形で既存の流通に組み込まれることが多く、生産者の背景や農産物の価値が十分に伝わらないままの流通となっている。

また、海老名市は都市近郊に位置し、生産地と消費地が地理的に近接しているにもかかわらず、生産者と消費者が直接関わる機会は限られている。

こうした課題に対し、本取組では、既存の流通構造とは異なる形であるレストラン等の場や情報発信媒体を介して、生産者と消費者がつながる新たな流通と交流の仕組みを構築する。

インプット

- ✓ 野菜販売の什器購入：マルシェ棚 5 基、コンテナ 39 台、OSB 天板 23 枚
- ✓ 約 4.5 m²の野菜販売ブースの設置

アクティビティ

- ✓ レストラン内での野菜販売及び料理提供（農産物の販売に際し、売上の約 7 割を生産者に還元するとともに、販売価格は生産者自身が設定する仕組みを採用）
- ✓ レストラン SNS 等を通じた生産者情報の発信：7 回
- ✓ 雑誌に生産者や農産物の背景を紹介する記事を掲載することによる、来店者を中心とした消費者への認知促進：3 回
- ✓ 地産地消に関係する上映会と、生産者による直売会・座談会の同時開催

今後の展望

農産物の販売に加え、生産者名や栽培背景を伝える工夫を強化し、農産物の価値の可視化をさらに進める。